

## 公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美  
 神山哲太郎・大西 厚子

### 代表質問(抜粋)

【林 光仁 議員】



IRについて、議員団として現時点では賛成できる材料は持ち合わせていない。市民理解をどう深めていくのかを質問。本市におけるIR像を示す必要があり、民設民営に基づき投資意向・施設規模・施設のコンセプト・依存症対策などのリスク対策を具体的に示していくと答弁がありました。

**地域おこし協力隊について**、全国植樹祭が行われた苦東・和みの森の維持管理のため、地域おこし協力隊の配置の必要性と、森の在り方についての認識を質問。自然体験など人と森の共生空間の維持管理が必要。年内に結論を出せるよう検討したいと答弁がありました。

**障がい者就労施設からの物品調達**について、他都市は本市より高い実績を持つが、改善はできないのか質問。今後調査・研究を行うとともに検討を進め、受注機会を拡大すると答弁がありました。他、民間の発達支援事業についてなど質問しました。

### 29年度一般・企業会計予算質疑等(抜粋)

【藤田 広美 議員】



**災害対策費**で、目や耳の不自由な方への情報伝達としてメール・電話・FAXの一斉送信と、防災情報が確認できるテレフォンサービスを平成29年夏までに導入する予定。

**まちなか交流センター指定管理費**でココトマのサービス向上とバス待合スペースの確保を質問。29年度の早い時期に電子図書館サービスの供用を開始。**がん検診事業費**では、胃がん検診に胃内視鏡検査を50歳以上を対象に5月から実施。**赤ちゃん絵本のとびら事業**では、29年度から拡大し、3冊の中から2冊を選択して提供します。他、**食育推進計画の策定**・**コンビニ交付システム**・**市のPR動画作成**・**緑ヶ丘公園サッカー場改修**についてなど質問しました。

【大西 厚子 議員】

**IR投資意向等調査検討事業費**で、委託業者選定の方法・依存症対策の調査などについて質問。業者選

定は公募型プロポーザル方式で行い、依存症対策は、課題・対応策を調査し、道・国へ制度要請すると共に、市民と情報共有し知見を広めると答弁がありました。

**新生児聴覚検査助成事業**について、平成29年4月1日以降生まれの新生児を対象に、初回検査費用をほぼまかなえる、一人3,000円を上限に助成すると答弁がありました。

他、**認可地縁団体の町内会補助のあり方**・**高齢者等緊急通報システム**についてなど質問しました。



**新生児聴覚検査助成事業**について、平成29年4月1日以降生まれの新生児を対象に、初回検査費用をほぼまかなえる、一人3,000円を上限に助成すると答弁がありました。

他、**認可地縁団体の町内会補助のあり方**・**高齢者等緊急通報システム**についてなど質問しました。

【神山 哲太郎 議員】



**人間ドック**・**脳ドック事業**等について毎年定員を上回る申込があるので定員枠を拡大することを提案しました。29年度は現行の320名から350名へ拡大すると答弁がありました。また、**脳ドック**や**ペットCT**が**がん検診**についても関係機関と協議する方

向であることが示されました。

**27年度に国保会計で発生した公金・徴収金の紛失について** 紛失した公金などについては、法律により職員が補てんしているが、事件は解決していないため、今後どのようになるか危惧していると質問しました。新たな証拠・証言が出ておらず、警察も「捜査中」と回答しており、市としてもこのままで良いとは考えていないとの答弁がありました。

\*\*\*\*\*

【池田 謙次 議長】



今議会も各会派の代表質問・予算委員会と活発な質疑が展開されました。

議場では、第2回「議場コンサート」を開催。さらには、全国初の「議場婚姻セレモニー」を挙行。このように、発想を変えて、市民の皆様喜んでいただける事業が出来たことは、市長はじめ議員一同の喜びであります。これからも、より市民の方々に関われた議会を目指して参ります。